

令和3(2021)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
博士課程学生募集要項
(夏季募集・改訂版)

先端表現情報学コース
総合分析情報学コース

※受験予定コースの「入学試験案内」を必ず入手すること。

(URL: <http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/>)

【本要項の問合せ先】

東京大学大学院学際情報学府事務部学務チーム

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 03-5841-8769, 8768

E-mail: gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp

令和 3(2021)年度東京大学大学院学際情報学府 学際情報学専攻博士課程学生募集要項（夏季募集・改訂版）

教育研究上の目的

本学府は、全学の情報関連教育研究組織の有機的な連携のもとに、学際的かつ実践的な学びの環境を提供し、高度情報化社会の諸分野で求められる情報の処理技術、それらの社会的な意味や機能に関する高度な知識を幅広く有する人材を育成することを目的とする。ここでは、実践的な情報リテラシーを身につけた人材養成と社会人再教育を行うと同時に、文理融合的に情報学のフロンティアを切り開く研究者・表現者の養成を行う。

入学者受入方針

1. 東京大学大学院学際情報学府博士課程は、情報に関連するさまざまな現象について、文理を越境する幅広い視野と知的好奇心、研究テーマを学問的に展開させるための専門的能力を有し、それをさらに深める意欲を有し、かつ、既成の概念にとらわれない新鮮な着想力と、斬新な研究をやり遂げる堅実な実行力を持って、情報学のフロントランナーとして、未知の問題の解決に向けて独創的かつ文理融合的なスタンスで取り組むことができ、情報学の分野で卓越した知を創出することのできる学生を求める。
2. 入学者選抜においては、以下の点が問われる。
 - ・ 志望分野に関する深い専門的知識を有しているとともに情報学の研究を通じ学術の高度化に寄与する能力をもっていること。
 - ・ 志望分野において、先駆的な研究課題を自ら設定することができ、自らが有する専門知識と研究手法に基づいて、課題を解決する能力をもっていること。
 - ・ 研究成果を国内外に効果的に発信するための語学能力を具えていること。

1. 出願資格（以下(1)～(11)のいずれかの要件を満たす者）

- (1) 本学府において令和 3(2021)年 3 月 31 日（注 1）までに修士の学位を得る見込みの者。
- (2) 本学他研究科・教育部において令和 3(2021)年 3 月 31 日（注 1）までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者。
- (3) 本学において修士の学位又は専門職学位を得た者。
- (4) 本学以外の日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び令和 3(2021)年 3 月 31 日（注 1）までに得る見込みの者(注 2)。
- (5) 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び令和 3(2021)年 3 月 31 日（注 1）までに授与される見込みの者。
- (6) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 3(2021)年 3 月 31 日（注 1）までに授与される見込みの者(注 3)。
- (7) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 3(2021)年 3 月 31 日（注 1）までに授与される見込みの者。
- (8) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 3(2021)年 3 月 31 日（注 1）までに授与される見込みの者。

○ 以下(9)～(11)の出願資格については、出願前に審査（(9)、(10)）又は個別の入学資格審査（(11)）

を行う。

- (9) 外国の学校、上記出願資格(7)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎審査に相当するものに合格した者及び令和3(2021)年3月31日(注1)までに合格見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者。
- (10) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び令和3(2021)年3月31日(注1)までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者(注2)(注3)。
- (11) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者で、令和3(2021)年3月31日(注1)において24歳に達しているもの(注4)。

(注1) 総合分析情報学コースでは、令和3(2021)年4月入学のほかに、令和2(2020)年9月入学を認める。募集人員は若干名である。なお、令和2(2020)年9月入学を希望する者については、出願資格(1)から(13)までの「令和3(2021)年3月31日」を「令和2(2020)年9月23日」と読み替えるものとする。

なお、令和2(2020)年9月入学希望者で、9月24日から9月30日までの間に
出願資格(1)から(9)のいずれかを満たす者は、事前に本学府事務部学務チーム(後記2.(3))へ問い合わせること。

(注2) 上記(4)、(10)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注3) 上記(6)、(10)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注4) 上記(11)に該当する者とは、上記(1)から(10)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者である。

○ 上記(9)、(10)又は(11)の資格により出願しようとする者については、以下の書類等を6月1日(月)までに必ず書留郵便により本学府事務部学務チーム(後記2.(3))に郵送すること(6月2日(火)以降に到着したものについては、6月1日(月)までの消印があるものに限り有効とする)。その際、封筒の表に「東京大学大学院学際情報学府博士課程出願資格(9)、東京大学大学院学際情報学府博士課程出願資格(10)、東京大学大学院学際情報学府博士課程出願資格(11) 審査提出書類」である旨を明記すること。

※ 審査又は個別の入学資格審査に伴う提出書類については、原則として返却しない。

書類等	提出者	摘要
履歴書	出願資格(9)、(10)、(11) 全員	任意様式(以下の事項を記載)。 ・生年月日、現住所、電話番号、E-mail等連絡先。 ・小学校からの全学歴(それぞれの学校名、入学・卒業年月、在学年数及び正規の修業年数を明記)。 ・その他、研究歴、国際的活動経験、実務経験、取得資格、各種国家認定試験、公表論文・著書、学会等における発表の実績、受賞歴等、該当するもの。 ・個別の入学資格審査時点での希望コース。
成績証明書	出願資格(9)、(10)、(11) 全員	学部(教養課程を含む4年間)及び修士課程(在籍履歴がある場合)の成績証明書。 ※出願資格(11)の場合は、出願者の在籍した(又は在籍中の)教育施設における学部及び修士課程に相当する課程の成績証明書。

審査結果通知用封筒	出願資格 (9)、(10)、(11) 全員	長形 3 号の封筒 (120mm×235mm) に出願者本人の宛名を記入し、374 円分の切手を貼ったもの。
出身大学等が作成 (署名) した審査合格確認 (証明) 書類	出願資格 (9) のみ	内容については、6 月 1 日 (月) までに本学府事務部 (後記 2. (3)) に申し出て、その指示に従うこと。
研究成果に関する資料	出願資格 (10) のみ	研究の成果を示す公表論文・著書、学会等における発表の内容が掲載されている冊子等。
教育施設に関する資料	出願資格 (11) のみ	出願者の在籍した (又は在籍中の) 教育施設の概要、授業内容・教材等、授業時間数、採点・評価基準等の掲載されている冊子等。

- 審査又は個別の入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。
なお、審査の結果は 7 月 6 日 (月) までに郵送により通知する。

2. 出願方法・出願期間

- (1) 出願方法 出願は、原本の郵送に加え、推薦書を除いた、後記「8. 提出書類等」を一つの PDF ファイルにまとめ、指定のウェブサイトよりアップロードすること (アップロード方法の詳細はウェブサイトに掲載する)。推薦者には、推薦書のアップロードを別途依頼すること。郵送した提出書類と PDF ファイルは必ず同じ内容とすること。郵送にあたっては、後記「8. 提出書類等」を一括して各自で用意した角形 2 号の封筒 (240mm×332mm) に入れ、書留速達郵便とすること。郵送物は返却しない。
ただし、提出書類の内、以下の書類については、異なる提出方法及び提出期間を指示する場合があるので、後記「8. 提出書類等」の注を参照すること。
・「論文」及び「論文要旨」
また、以下の書類の提出により、選考の一部が免除されることがある。詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。
・外国語 (英語) 試験成績証明書。
- (2) 受付期間 7 月 7 日 (火)～7 月 15 日 (水)
(郵送物について、7 月 16 日 (木) 以降に到着したものについては、7 月 15 日 (水) までの消印のあるものに限り有効とする。「8. 提出書類等」のアップロードは、7 月 15 日 (水) 23:59 (日本標準時間) までにアップロードが完了したものに限り有効とする)。
- (3) あて先 東京大学大学院学際情報学府事務部学務チーム
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
電話 03-5841-8769, -8768

3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、一次選考及び二次選考による。ただし、二次選考は、一次選考合格者についてのみ行う。
- (2) 一次選考の判定は、外国語試験の成績証明書、口述試験 (オンライン) 及び書類選考により行われる。
- (3) 二次選考は、修士の学位論文又はこれに代わるもの及び研究計画等について、口述試験 (試験方法未定) を行い、一次選考の内容と合わせて総合的に判定する。

4. 選考期日及び場所

(1) 一次選考

＜口述試験＞（外国語試験の成績証明書及び書類選考の合格者を対象にオンラインで行う）

8月20日（木）から8月23日（日）のうち、いずれか一日を指定する。

一次選考（口述試験）の詳細については、受験票とともに郵送（予定）する「受験者心得」による。

※ 出願時に既に修士の学位又は専門職学位(に相当する学位)を取得している者、出願資格(9)～(11)の受験者及び9月入学希望者については、一次選考の口述試験が二次選考の口述試験を兼ねる。

(2) 二次選考（口述試験）：一次選考合格者を対象に行う。

ア) 出願資格(1)による出願者の二次選考(口述試験)は、別途通知する修士論文審査と同日に行う。

イ) 出願資格(2)から(8)による出願者の二次選考(口述試験)は、令和3(2021)年2月6日(土)に行う。

ア)、イ)とも試験時間割、試験場その他詳細は、令和3(2021)年1月27日(水)14時頃、情報学環・学際情報学府ウェブサイトに掲載する。

5. 試験科目及び募集人員

専攻	コース	募集人員 (注1)	一次選考			二次選考	
			筆記試験(注4)		口述試験(注5)	書類選考	口述試験(注5)
			外国語	専門科目			
学際情報学	先端表現情報学	夏季・冬季あわせて8名 (注2)	英語 TOEFL等の成績を利用する。 (注3、4)	当該コースの専門に関わる領域。 (注6)	修士の学位論文として取り組んでいる研究内容又はこれに代わるものの審査、基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画について総合的に行う。	提出書類等(外国語(英語)筆記試験に係るTOEFL等の成績を除く全ての書類)に基づいて行う。	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査、研究能力及び研究計画について総合的に行う。 (注6)
	総合分析情報学	夏季・冬季あわせて8名 (注2)					

(注1) 選考の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

(注2) 先端表現情報学コース、総合分析情報学コースは冬季にも募集を行う。なお、冬季の募集要項については、あらためて発表する。

(注3) 出願資格(1)の受験者は、外国語試験の成績証明書は免除する。また、先端表現情報学コースに限り、出願資格(2)及び(3)の受験者のうち、本学府、本学工学系研究科、情報理工学系研究科及び総合文化研究科広域科学専攻の修了(見込み)者についても外国語試験の成績証明書を免除する(本学のその他の研究科・教育部の修了(見込み)者についても専攻分野等によっては外国語試験の成績証明書を免除する可能性があるが、出願時においては外国語試験の成績証明書を提出すること。なお、本学のその他の研究科・教育部の修了(見込み)者について免除するか否かは、受験票等の発送(予定)に併せて通知する)。

※ 一次選考の判定外国語試験の成績証明書、口述試験及び書類選考により行われるので、外国語の成績証明書を免除された者であっても、必ずしも一次選考合格者とはならない場合があることに留意すること。

(注4) 各コースが指定する外国語試験の成績証明書を提出すること。詳細は受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

(注5) 出願時に既に修士の学位又は専門職学位(に相当する学位)を取得している者及び出願資格(9)～(11)の受験者、9月入学希望者については、一次選考の口述試験が二次選考の口述試験を兼ねる。

(注6) 先端表現情報学コースの特別選考枠については、修士の学位論文又はこれに代わるものの審

査、研究能力及び研究計画、ならびにポートフォリオの内容について総合的に行う。
 ※ 試験科目（TOEFL 等を含む）の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

6. 合格者の発表及び入学手続

- (1) 一次選考(外国語試験の成績証明書及び書類選考)合格者の受験番号及び一次選考(口述試験)の集合時間・場所は、8月14日(金)14時頃、情報学環・学際情報学府ウェブサイトに掲載する。
- (2) 一次選考合格者(出願時に既に修士の学位又は専門職学位(に相当する学位)を取得している場合、出願資格(9)～(11)の受験者の場合及び9月入学希望の受験者の場合は最終合格者)の受験番号は、8月28日(金)14時頃、情報学環・学際情報学府ウェブサイトに掲載する。また、最終合格者に対しては、情報学環・学際情報学府ウェブサイトへの掲載に加えて郵送により通知する。
- (3) 最終合格者(上記(2)で最終合格者として発表した者を除く)の受験番号は、令和3(2021)年2月16日(火)14時頃、情報学環・学際情報学府ウェブサイトに掲載する。
 また、最終合格者に対しては、情報学環・学際情報学府ウェブサイトへの掲載に加えて郵送により通知する。
- (4) 可否の情報について、電話、メールによる照会には、一切応じない。
- (5) 入学許可通知書は、令和3(2021)年4月入学許可者については、令和3(2021)年2月下旬頃、本人宛に郵送する。
 また、9月入学許可者については、9月上旬頃、本人宛に郵送する。
- (6) 令和3(2021)年4月入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する指示に従い、令和3(2021)年2月から3月の所定期間内に必要な手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。また、9月入学許可の通知を受けた者は、同様に9月の所定期間内に必要な手続き(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。
- (7) 入学時に必要な経費(令和3(2021)年度予定額)
 (日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)
 ① 入学料 282,000円(予定額)
 ② 授業料前期分 260,400円(年額520,800円)(予定額)
 (注) 上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

7. 特別選考枠

先端表現情報学コースにおいて特別選考枠を用意する。
 特別選考枠の詳細については、先端表現情報学コースの「入学試験案内」を参照すること。

8. 提出書類等

受験予定の各コースの「入学試験案内」も必ず参照すること。

書類等	出願資格				摘 要
	(1)	(2)	(3)	(4) から (11)	
* 入学願書(正・副)	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。
* 受験票	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。
* 指導教員希望調査書	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。
論文	○注1	○注2	○注3	○注4	修士の学位論文又はこれに代わるもの(所定の論文添付票を貼付すること)。

論文要旨	<input type="radio"/> 注1	<input type="radio"/> 注2	<input type="radio"/> 注3	<input type="radio"/> 注4	A4判任意用紙4頁以内にまとめたもの（両面印刷し、所定の論文要旨添付票を貼付すること）。
*研究計画書	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	本学府入学後の研究計画を、A4判任意用紙にまとめたもの（両面印刷し、所定の表紙を付けること）。
*自己推薦書 先端表現情報学コースを受験する者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	出願者の基礎学力及び専門領域の能力を自らが評価し、記入したもの。なお、必要に応じ、上記の「論文」以外に情報学及びその関連する分野における実績があれば、その概要を記したものや目録、現物（著書、論文、報告書、作品など）が掲載されているURL等を記入すること。
外国語（英語）試験成績証明書等		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2018年9月1日以降、前記「2.出願方法・出願期間（2）受付期間」終了までに受験したもの。
*推薦書		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	出願者の専門領域に関わる研究面での経験及び能力に関する評価を記入したもの 評価者は、官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする。
出身大学及び出身大学院の成績証明書		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 注5	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・学部（教養課程を含む4年間）及び修士課程（博士前期課程）又は専門職学位課程の成績を証明するもの。 ・大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。 ・原本を提出。
出身大学院の修了証明書		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 注5	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書に修了年月日が記載されている場合は不要。 ・外国の大学院を修了した場合は、取得学位が記載されているもの。 ・出願資格(5)の者は、大学改革支援・学位授与機構（学位授与機構又は大学評価・学位授与機構を含む）が作成した学位授与証明書を提出すること。 ・原本を提出。
出身大学院の修了（見込）証明書 （外国の大学院の修了（見込）者のみ）				<input type="radio"/>	原本を提出。

<p>検定料</p> <p>【銀行振込の場合】 *「東京大学」 入学検定試験検定料 振込金受付証明書（C票）</p> <p>【コンビニエンスストアでの払込の場合】 収納証明書</p> <p>【クレジットカードでの払込の場合】 「受付完了画面」のプリントアウト</p> <p>【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込の場合】 「照会結果画面」のプリントアウト</p>			○注6	○注6	<p>検定料：30,000円 銀行振込コンビニエンスストア、ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行又はクレジットカードでの払込に限る。また、いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。</p> <p>【銀行振込の場合】 所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）から振り込むこと（ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での所定の方法での払込の場合を除き、ATM、インターネット等は利用しないこと）。振込方法等の詳細は、所定の振込依頼書及び注意書を参照すること。</p> <p>【コンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込の場合】 コンビニエンスストアは、セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップに限る。 実際の払込に関する操作手順や注意事項については、別紙 「東京大学大学院学際情報学府での検定料払込方法」 を参照のうえ払い込むこと。また、払込の際に発生する払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。</p> <p>【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行での払込の場合】 払込に関する操作手順や注意事項については、別紙の「東京大学大学院学際情報学府検定料払込方法」を参照のうえ、払い込むこと。払い込み後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【お客様番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を印刷して入学願書の所定の欄に貼り付けること。</p>
<p>受験票送付用封筒</p>	○	○	○	○	<p>各自で用意した長形3号の封筒（120mm×235mm）に出願者本人のあて先（郵便番号、住所及び氏名）を記入し384円分の切手を貼ったもの。</p>
<p>*日本語学力証明書 (外国人出願者のみ)</p>				○注7	<p>日本語担当教員又はこれに準ずる者が作成したもの。</p>
<p>*出願書類チェックリスト</p>	○	○	○	○	<p>所要事項を記入したもの</p>

※ *印は所定様式を使用すること。ただし、研究計画書については、表紙のみ所定様式を使用すること。
※ 提出書類等の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

注1 二次選考（口述試験）において使用する。一次選考合格者のみ、別途指示される「修士学位論文提出要領」に基づき提出すること。

注2 二次選考（口述試験）において使用する。一次選考合格者のみ、他の提出書類と別に令和3(2021)

- 年1月5日(火)必着で、論文及び論文要旨各3部(予定)を、各自で用意した封筒により、書留速達郵便により郵送(予定)すること。
- 注3 一次選考の口述試験(二次選考の口述試験を兼ねる)において使用する。他の提出書類と別に7月31日(金)必着で、論文及び論文要旨各1部を、各自で用意した封筒により、書留速達郵便により郵送すること。
- 注4 (7) 出願資格(4)~(8)の受験者のうち出願時に既に修士の学位又は専門職学位(に相当する学位)を取得している者、出願資格(9)~(11)の受験者及び9月入学希望者については、一次選考の口述試験(二次選考の口述試験を兼ねる)において使用する。他の提出書類と別に7月31日(金)必着で、論文及び論文要旨各1部を、各自で用意した封筒により、書留速達郵便により郵送すること。
- (4) 出願資格(4)~(8)の受験者のうち令和3(2021)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位(に相当する学位)を得る見込みの者については、二次選考(口述試験)において使用する。一次選考合格者のみ、他の提出書類と別に令和3(2021)年1月5日(火)必着で、論文及び論文要旨各3部(予定)を、各自で用意した封筒により、書留速達郵便により郵送(予定)すること。
- 注5 本学府修了者は、不要。
- 注6 日本政府(文部科学省)奨学金留学生は不要。
- 注7 日本の大学を卒業した者、日本の大学院を修了した者又は修了見込みの者については不要。

9. 注意事項

- (1) 同一時期の募集において、本学府内の複数のコースに同時に出願することはできない。また、同一時期の募集において、修士課程と博士課程に同時に出願することはできない。
- (2) 他の研究科・教育部(情報学環教育部研究生とは異なる)と重複して入学することはできない。
- (3) 提出書類は入学者選抜のための重要な資料となるので、正確に作成すること。提出期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の払い戻しはしない。
- (4) 「受験票」、「受験者心得」、選考の一部免除の審査結果等は、出願者本人に郵送(予定)する。7月31日(金)までに到着しない場合は、必ず本学府事務部学務チーム(前記2.(3))に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (5) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は6月15日(月)までに本学府事務部学務チーム(前記2.(3))に申し出ること。
- (6) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」による、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (7) 官公庁、企業及び団体等に在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、「在学期間中学業に支障のないよう配慮する」旨の勤務先の承諾書(様式任意)を提出すること。
- (8) 事情によっては、出願手続及び試験期日等について、変更することもある。
- (9) 出願手続後は、どのような事情があっても、書類の返却はしない。
- (10) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
- (11) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (12) 入学者選抜に用いた成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (13) 提出書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。
- (14) 東京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を行っている。規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合があるので、注意すること。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理支援室ホ

ホームページを参照すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/export-control/ja/rule.html>

令和2(2020)年6月

令和 3 (2021) 年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
博士課程入学試験案内
(夏季募集・改訂版)
先端表現情報学コース

注意：本案内以外に、本学府学生募集要項についても必ず目を通すこと。

出願上の諸注意

出願資格の詳細については、本学府学生募集要項「1. 出願資格」を参照のこと。

1. 入学願書作成に関する注意

- (1) 入学願書は正・副2枚ある。必ず2枚とも提出すること。
- (2) 入学願書（正・副）は、コースにより様式が異なるので、十分注意して選択し、1コースのみ提出すること。万が一、提出書類でコースの選択が統一されていない場合、入学願書（正）で選択したコースに出願したものとして取り扱う。
- (3) 出願資格(2)から(11)による出願者は、「外国語（英語）受験方法」欄の該当する項目にレ印を付けること（「外国語（英語）試験について」参照）。
- (4) 「一般選抜／特別選考枠」欄は、該当する項目にレ印を付けること。
- (5) 「出身大学」及び「出身大学院」の欄に正確な学部（研究科・学府）・学科（専攻）名を必ず記入すること。また、東京大学大学院を令和3(2021)年3月に修了見込の者は、現在の学生証番号を記入すること。
- (6) 複数の大学を卒業又は大学院を修了（見込）の場合は、裏面の履歴に記入すること。
- (7) 「現在の身分」欄は、「出身大学院」欄の大学院に在学中以外の所属がある場合のみ、所属機関、部署等の名称及び身分を具体的に記入すること。研究生等の場合も同様。
- (8) 入学願書に貼付する写真3枚(受験票貼付分を含む)は、同一のものを使用すること。
- (9) ファクス番号(fax)及び電子メールアドレス(e-mail)の欄は、緊急連絡手段として記入可能なものがあれば、記入すること。

2. 成績証明書に関する注意

- (1) 学部の成績証明書は、必ず教養課程を含んだ4年間分を提出すること。
- (2) 大学院を修了している場合も学部の成績証明書を必ず提出すること。
- (3) 複数の大学を卒業又は大学院を修了（見込）の場合は、複数の成績証明書を提出してもよい。
- (4) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。
- (5) 原本を提出すること。

3. 指導教員希望調査書に関する注意

- (1) 「学生受入教員名簿（博士課程）」（後掲）を参照の上作成すること。
- (2) 「指導教員希望調査書」に記入する教員は、必ず志望するコースの学生受入教員名簿に記載された教員から選ぶこと。
- (3) なお、指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。

4. 推薦書に関する注意

- (1) 出願者の専門領域に関わる研究面あるいは、実務面での経験及び能力に関する評価を記入したもの。
- (2) 評価者は、官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする。
- (3) 評価者は、推薦書記入後、指定のウェブサイトへアップロードすること。

5. 「論文」及び「論文要旨」の提出に関する注意

出願者の「論文」及び「論文要旨」の提出方法について、次のとおり補足する。

- (1) 所定の「論文・論文要旨送付ラベル」を各自用意した送付用封筒の表に貼付の上、「書留速達郵便」により、郵送すること。
- (2) 令和3(2021)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者について、「論文」及び「論文要旨」の提出が、出願と同時にないことを認めているが、必ず「博士課程学生募集要項」記載の所定の期限までに書留速達郵便にて郵送（予定）すること。郵送以外は受け付けない（予定）。

なお、所定の期限までに提出できない場合は、受験を途中で辞退する旨を本学府事務部学務チームに連絡すること。ただし、提出書類等（検定料を含む）は返却しない。

- (3) 上記(2)以外の者は、所定の受付期間内にほかの提出書類と同日に郵送すること。

6. 日本語学力証明書に関する注意

- (1) 外国人（日本の大学を卒業した者及び卒業見込みの者を除く）は、必ず提出すること。
- (2) 日本語学力証明書の様式は、原則として本案内添付の様式を使用すること。これと別な様式とする場合は、「話す力」「聞く力」「書く力」及び「読む力」の評価並びにその評価方法等が記載された内容の証明書とすること。

7. 各種証明書及び提出書類等に関する注意

- (1) まれに発行元の都合で証明書の原本を提出できずにコピーを提出する場合があるが、この場合、発行元又は公的機関で原本と相違がないことを証明のうえ、提出すること。

ただし、新型コロナウイルス感染症により願書出願期間に各種証明書の原本（原本証明も含む）の提出が困難である場合は、令和3(2021)年度本学府入学試験（夏季募集）に限り、一時的にコピーや電子媒体の証明書でも受理する（原本確認は、入学手続き時に実施する）。

なお、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。

外国語試験の成績証明書の取扱いについては、本入学試験案内の「外国語（英語）試験について」を参照すること。

- (2) 提出する証明書、論文等は、日本語又は英語によることを原則とするが、やむを得ない事情により、他の言語の証明書を提出する場合は、和訳又は英訳した文書を添付すること。

8. 各種提出書類等に関する注意

- (1) 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻博士課程学生募集要項（夏季募集）「7. 提出書類等」に基づき書類等を整理して各自で用意した角形2号の封筒（240mm×322mm）に

封入し、書留速達郵便で送付すること。

- (2) 「受験番号」欄以外は、それぞれの書類の注意書き等に従い、該当する箇所すべてを記入すること。
- (3) 複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。
- (4) 「研究計画書」は、必ず表紙(所定様式)の後ろに添付して、クリップで留めること(ホッチキス、糊等で綴じないこと)。
- (5) 「自己推薦書」について、情報学及びその関連する分野における実績がある場合は、掲載されている URL 等を記入すること。
- (6) 受験票送付用封筒として、各自で用意した長形 3 号の封筒 (120mm×235mm) の表 (おもて) に出願者本人のあて先 (郵便番号、住所及び氏名) を記入し 384 円分の切手を必ず貼り提出すること。
- (7) 提出書類(各種証明書等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。
- (8) 上記に加え、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻博士課程学生募集要項 (夏季募集) に基づき、推薦書を除いた全ての提出書類を単一の PDF ファイルに統合して提出すること。アップロード方法の詳細はウェブサイトに掲載する。郵送した提出書類と PDF ファイルは必ず同じ内容とすること。提出書類は、個別に指示が無い限り、両面印刷しクリップで留めること。郵送物は返却しない。郵送物、提出書類の到着等に関する電話、メールによる照会には一切応じない。

先端表現情報学コース案内

本学府博士課程[先端表現情報学コース]は、21世紀の社会・産業・個人の情報環境の基盤となる先端的な理工系情報学の知を深め、かつ様々な形での表現を指向するとともに、他分野と協調して学際的に情報学のフロンティアを切り拓いていくための幅広い学識を身につけ、創造的なデザイン能力を有する研究者及び表現者を養成します。

1. 募集人員

募集人員
8名(夏季、冬季の入試の合計人数である。うち特別選考枠を3分の1程度までとする)

(注1) 本コースの「特別選考枠」では、修士の学位論文として取り組んでいる研究内容又はこれに代わる論文等に加えて、メディア技術に関わるデザイン・芸術表現分野における作品制作・発表等の活動実績や専門性を重視して評価し、外国語試験の成績証明書等も含めて選考する。

(注2) 試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

(注3) 冬季の募集については改めて発表する。

2. 一般選考

(1) 一次選考

判定は、提出書類、書類選考並びに口述試験に基づいて行う。

口述試験は、オンライン会議システムにより遠隔で行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ（ノートパソコン等）が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。また、口述試験で、入試案内の筆記試験（専門科目）にて示されている内容について試問を行う場合がある。

試 験	内 容
提出書類 (外国語(英語)) (注1)	「外国語(英語)試験について」(後掲)参照
一次試験 (筆記試験) (専門科目) (注1)	<p>数学分野の共通問題1問に解答するとともに、選択問題1問に解答する。選択問題は、情報に関わる以下の分野から複数の論述問題が出題される。共通問題と選択問題ともに日本語・英語のいずれかで解答すること。英文が併記されている問題に関しては、日本語が正である。</p> <p>共通問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 線形代数、微分積分学、微分方程式 <p>選択問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子情報学/機械情報学/都市工学/社会基盤学などに関する分野の基礎的学力と知識 ・ 人間・環境/歴史・文化/メディア・コミュニケーションなどに関する分野の基礎的学力と知識

一次試験 (口述試験) (注2)	修士の学位論文として取り組んでいる研究内容又はこれに代わる論文等の審査、基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画、ならびにポートフォリオについて総合的に行う評価する。本人の説明時間は20分以内とする。
------------------------	---

(注1) 出願資格(1)の受験者は免除する。また、出願資格(2)及び(3)の受験者のうち、本学府、本学工学系研究科、情報理工学系研究科及び総合文化研究科広域科学専攻の修了(見込み)者についても外国語試験の成績証明書を免除する。(本学のその他の研究科・教育部の修了(見込み)者についても専攻分野等によっては外国語試験の成績証明書を免除する可能性があるが、出願時においては外国語試験の成績証明書を提出すること。なお、本学のその他の研究科・教育部の修了(見込み)者について免除するか否かは、受験票等の発送(予定)に併せて通知する。)

※一次選考の判定は外国語試験の成績証明書、口述試験及び書類選考により行われるので、外国語試験の成績証明書を免除された者であっても、必ずしも一次選考合格者とはならない場合があることに留意すること。

(注2) 出願時に既に修士の学位又は専門職学位(に相当する学位)を取得している者及び出願資格(4)～(11)の受験者については、一次選考の口述試験が二次選考の口述試験を兼ねる。

(2) 二次選考

一次選考合格者を対象に、オンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ(ノートパソコン等)が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。

試 験	内 容
口述試験	修士の学位論文又はこれに代わる論文等及び研究計画について総合的に評価する。

3. 特別選考枠

本コースの特別選考枠は、メディア技術に関わるデザイン・芸術表現分野における作品制作・発表等の顕著な活動実績や高い専門性を有する者の特別選考枠とする。

(1) 条件

修士の学位論文として取り組んでいる研究又はこれに代わる論文等に加えて、メディア技術に関わるデザイン・芸術表現分野における作品制作・発表等の顕著な活動実績や高い専門性を有する者。主に下記のような領域を想定しているが、これに限るものではない。

- ・メディアアート
- ・メディアデザイン
- ・プロダクトデザイン
- ・情報デザイン
- ・エンタテインメントコンテンツ
- ・都市・防災デザイン
- ・教育コンテンツ

(2) 出願時提出書類

特別選考枠での受験を希望するものは、一般選抜の提出書類に加え、ポートフォリオとして、以下を満たす書類を提出すること。ポートフォリオは、他の提出資料と合わせて単一の PDF として統合し、原本の郵送および指定のサイトよりアップロードするものとする（アップロード方法の詳細はウェブサイトに掲載する）。郵送の場合は、書類や資料は「博士課程学生募集要項」に指定された封筒に収まる大きさまでとする。提出物は返却しない。

- ・ メディア技術に関わるデザイン・芸術表現分野におけるこれまでの顕著な活動を説明する資料（書式任意）。複数人での活動の場合、個人としての貢献を証明、または明確に説明することが望ましい。
- ・ 必要に応じて、賞状のコピー等の業績を証明する資料や作品のコピーを PDF 内に添付しても良い。
- ・ ポートフォリオ内に、サイズや形式の関係で PDF には収まらないファイル、映像、ウェブ等への URL（および必要に応じてパスワード）を含めても良いが、これらはあくまで参考とし、PDF 内に記載された内容をもとに評価を行うものとする。URL の先のサイトやファイルは 2020 年 8 月末までは閲覧可能な状態にしておくこと。

(3) 一次選考

判定は、提出書類、書類選考並びに口述試験に基づいて行う。

口述試験は、オンライン会議システムにより遠隔で行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ（ノートパソコン等）が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。また、口述試験で、入試案内の筆記試験（専門科目）にて示されている内容について試問を行う場合がある。

試験	内容
提出書類 (外国語(英語)) (注 3)	「外国語（英語）試験について」（後掲）参照
一次試験 (筆記試験) (専門科目) (注 3)	<p>選択問題 2 問に解答する。選択問題は、情報に関わる以下の分野から複数の論述問題が出題される。日本語・英語のいずれかで解答すること。英文が併記されている問題に関しては、日本語が正である。特別選考枠は数学分野の共通問題は解答の必要はない。</p> <p>共通問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解答の必要なし <p>選択問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子情報学／機械情報学／都市工学／社会基盤学などに関する分野の基礎的学力と知識 ・ 人間・環境／歴史・文化／メディア・コミュニケーションなどに関する分野の基礎的学力と知識
一次選考 (口述試験) (注 4)	修士の学位論文として取り組んでいる研究内容又はこれに代わるものの審査、基礎及び専門学力、研究能力及び研究計画について総合的に行う。本人の説明時間は 15 分以内とする。

(注 3) 出願資格(1)の受験者は免除する。また、出願資格(2)及び(3)の受験者のうち、本学

府、本学工学系研究科、情報理工学系研究科及び総合文化研究科広域科学専攻の修了（見込み）者についても外国語試験の成績証明書を免除する。（本学のその他の研究科・教育部の修了（見込み）者についても専攻分野等によっては外国語試験の成績証明書を免除する可能性があるが、出願時においては外国語試験の成績証明書を提出すること。なお、本学のその他の研究科・教育部の修了（見込み）者について免除するか否かは、受験票等の発送に併せて通知する。）

※一次選考の判定は外国語試験の成績証明書口述試験及び書類選考により行われるので、外国語試験の成績証明書を免除された者であっても、必ずしも一次選考合格者とはならない場合があることに留意すること。

(注 4) 出願時に既に修士の学位又は専門職学位(に相当する学位)を取得している者及び出願資格(4)～(11)の受験者については、一次選考の口述試験が二次選考の口述試験を兼ねる。

(4) 二次選考

一次選考合格者を対象に、オンライン会議システムにより遠隔で口述試験を行う。口述試験にはネットワークに接続し、カメラで受験者を撮影可能なコンピュータ（ノートパソコン等）が必要である。方法の詳細についてはウェブサイトへ掲載する。

試 験	内 容
口述試験	修士の学位論文又はこれに代わるもの及び研究計画、ならびにポートフォリオについて総合的に評価する。

外国語（英語）試験について

一次選考（書類選考）における外国語（英語）の試験は下記Aの方法による。

ただし、Bの方法をもって、それに代えることができる。

本学府が指定する TOEFL-ITP は実施しない。

入学願書の所定欄の希望する受験方法に一つだけチェックすること。

※出願資格(2), (3)で外国語試験の成績証明書が免除される場合、以下は不要である。

なお、外国語（英語）の試験について、下記で指定する受験方法以外は認めないので注意すること。

A. 次のア、イ、ウ、エいずれか1つを提出する。

ア. TOEFL-PBT または TOEFL-iBT の公式スコアシート

※TOEFL iBT Special Home Edition も可

イ. TOEIC の公式認定証

ウ. IELTS の公式成績証明書

※Computer Delivered IELTS（アカデミック・モジュール）も可

エ. 実用英語技能検定（英検、英検 CBT、英検 S-CBT）の合格証明書、英検 CSE スコア証明書

【ア. TOEFL (<https://www.cieej.or.jp/toefl/>) について】

○試験の種類：TOEFL-PBT または TOEFL-iBT とする。

※TOEFL iBT Special Home Edition も可

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2018年)の9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：下記①と②両方とも必要

①「Examinee Score Report (Examinee's Score Record)」のコピー、または「Test Taker Score Report」を印刷したもの。

Examinee Score Report (Examinee's Score Record) は、ETS (Educational Testing Service) から本人に送付されるものである。

Test Taker Score Report は、TOEFL のウェブサイトを確認すること。

(<https://www.ets.org/jp/toefl/ibt/scores/get/>)

②「Institutional Score Report」または「Official Score Report」

Institutional Score Report または Official Score Report は、ETS から東京大学大学院学際情報学府宛に直送されるものである。

受験生は、ETS に対して Institutional Score Report または Official Score Report の送付を請求する必要がある。

○提出方法：① 「Examinee Score Report (Examinee's Score Record)」のコピー、または「Test Taker Score Report」を印刷したものを、願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒を用いて、令和2(2020)年7月31日(金)本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。

② 「Institutional Score Report」または「Official Score Report」の到着期限は、令和2(2020)年7月31日(金)を原則とする。ただし、令和3(2021)年度本学府入学試験(夏季募集)に限り、到着期限内に「提出書類①」が本学府へ提出されていれば、到着期限後であっても受理する。ETSに対して東京大学大学院学際情報学府宛「Institution Code コード：0440 (U of Tokyo, Grad Sch Inter Info)」「Department コード：“99”(Any Department Not Listed)」へ送付するよう必ず請求する。
注) 請求方法などは、TOEFLのウェブサイトで十分確認すること。

<https://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/scores.html>

○注意事項：※Institutional Score ReportまたはOfficial Score Reportが複数枚届いた場合は、①と同一のスコアを採用する。

※ 各スコアの到着には約6週間程度かかることがあるので、日程に余裕を持って受験又は請求すること。詳しくはTOEFLウェブサイトを確認すること。

※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

※ 上記提出方法①、②における「理由書」の提出は不要とする。

【イ. TOEIC (<https://www.iibc-global.org/toeic.html>) について】

○試験の種類：TOEIC L&R または TOEIC Test とする。

※ 「TOEIC S&W、TOEIC Speaking、TOEIC Writing、または TOEIC SW Test」、
「TOEIC Bridge Test または TOEIC Bridge」のスコアは受け付けない。

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2018年)の9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本とする。

原本を提出できない場合は、事前に本学府事務部学務チームにメール(gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp)で連絡のうえ、学務チームに原本を郵送(必ず返信用封筒(現住所および本人氏名を明記し、切手を貼付)を同封すること)し、原本と相違ない旨の証明を受けたものを提出すること。

団体特別受験制度(IP: Institutional Program)のScore Report(個人成績表)、スコアシートのコピーなどは受け付けない。

○提出方法：願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。
ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒を用いて、令和2(2020)年7月31日(金)本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。

○注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。
※ 上記提出方法における「理由書」の提出は不要とする。

【ウ. IELTS (<https://www.eiken.or.jp/ielts/>) について】

○試験の種類：アカデミック・モジュールとする。

※Computer Delivered IELTS (アカデミック・モジュール) も可。

※ジェネラル・トレーニング・モジュールの成績は受け付けない。

○有効期限：本学府入学試験の2年前(2018年)の9月1日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

○提出書類：IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) 原本

原本を提出できない場合は、事前に本学府事務部学務チームにメール (gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp) で連絡のうえ、学務チームに原本を郵送 (必ず返信用封筒 (現住所および本人氏名を明記し、切手を貼付) を同封すること) し、原本と相違ない旨の証明を受けたものを提出すること。また、下記提出方法も参照すること。

○提出方法：IELTS 公式成績証明書 (Test Report Form) 原本は、願書提出時に他の書類と共に本学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒を用いて、令和2(2020)年7月31日(金)本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。
また、IELTS を実施している公益財団法人日本英語検定協会の管轄オフィスから大学に成績証明書 (Test Report Form) を送付するサービスを使って提出することも可とする。その場合、令和2(2020)年7月31日(金)本学府必着とする。管轄オフィスに対して東京大学大学院学際情報学府宛へ送付するよう必ず請求する。あて先は、東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士課程学生募集要項 (夏季募集) 「2. 出願方法・出願期間等」を参照すること。

注) 請求方法などは、IELTS のウェブサイトで十分確認すること。

<https://www.eiken.or.jp/ielts/result/>

<https://www.eiken.or.jp/ielts/apply/>

- 注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。
※ 上記提出方法における「理由書」の提出は不要とする。

【エ. 実用英語技能検定 (<https://www.eiken.or.jp/eiken/>) について】

- 試験の種類：実用英語技能検定及び英検 CBT (Computer Based Testing)、英検 S-CBT とする。
- 有効期限：本学府入学試験の2年前(2018年)の9月1日以降、別紙「学生募集要項(2.出願方法・出願期間)」記載の出願受付期間終了までに受験したものに限定する。これから実用英語技能検定を受験する者は、試験開催日を確認し、日程に余裕を持って受験すること。
- 提出書類：実用英語技能検定1級または準1級の「合格証明書(和文)」「英検CSEスコア証明書」とする。
原本を提出できない場合は、事前に本学府事務部学務チームにメール(gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp)で連絡のうえ、学務チームに原本を郵送(必ず返信用封筒(現住所および本人氏名を明記し、切手を貼付)を同封すること)し、原本と相違ない旨の証明を受けたものを提出すること。
- 提出方法：願書提出時に他の書類と共に学際情報学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時に「出願書類チェックリスト」の該当事項を必ず記入すること。その上で別途、各自で用意した封筒を用いて、令和2(2020)年7月31日(金)本学府必着で書留速達郵便により郵送すること。
- 注意事項：※ 不正が判明した場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。
※ 上記提出方法における「理由書」の提出は不要とする。

B. 外国語(英語)試験が受験できなかった(又はスコアを提出できない)場合、理由書を提出する。

新型コロナウイルス感染症の影響で外国語(英語)試験を受験できず、上記Aのスコアを提出できない場合は、受験できなかった(スコアを提出できない)理由および自らの外国語能力に関する説明を記載した理由書(外国語(英語)成績未提出理由書)を提出すること。

この場合は、二次選考(口述試験)の一部を英語で実施することで英語能力を判定する場合がある。

先端表現情報学コース
学生受入教員名簿（博士課程）

学際情報学府博士課程指導教員のうち、令和 3(2021)年度において学生受入を行う教員は以下のとおりである。

「指導教員希望調査書」に記入する教員名は、必ず以下に記載された教員から選ぶこと。

第1希望の教員とは、入学願書受付開始日の前日までにコンタクトをとること。

教員名	役職	本コースにおける担当専門分野（キーワード）
相澤 清晴	教授	画像処理、マルチメディア、ライフログ、3次元映像
伊東 乾	准教授	非線形音楽音声解析、動的音場解析、表現倫理
稲見 昌彦	教授	人間拡張工学、バーチャルリアリティ、ウェアラブル技術、超人スポーツ、エンタテインメント工学
大石 岳史	准教授	コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、複合現実感、3次元モデリング、デジタルアーカイブ
大口 敬	教授	道路・街路計画設計、交通挙動解析、交通運用影響評価、先進モビリティ研究開発
大島 まり	教授	生体シミュレーション、医用画像処理、ビジュアライゼーション、循環器系疾患、科学技術コミュニケーション、創造性教育
岡田 慧	教授	知能ロボット、ヒューマノイド、実世界インタラクティブ情報学、共棲ロボットのシステムデザイン
小川 剛史	准教授	拡張現実感、仮想現実感、ヒューマンコンピュータインタラクティブ
寛 康明	准教授	インタラクティブ、メディアアート、実世界拡張、創造・表現活動支援、デジタルファブリケーション、インクルーシブデザイン
上條 俊介	准教授	人物セキュリティ・マーケティングのための画像認識、高度交通システム、自動運転、アドホック通信やポジショニングによる行動支援
川越 至桜	准教授	最先端科学技術の教育用インターフェース開発、デジタルコンテンツ開発、評価のためのデータ分析、科学技術コミュニケーション
葛岡 英明	教授	CSCW、グループウェア、多言語コミュニケーション、ソーシャルロボット、バーチャルリアリティ、拡張現実感、理科教育
工藤 和俊	准教授	スポーツ、音楽演奏、巧みさ、力学系アプローチ、知覚-行為循環
國吉 康夫	教授	知能ロボット、コツと目の付け所、複雑適応系、認知発達、脳情報処理、ソーシャル ICT

佐藤 洋一	教授	コンピュータビジョン、画像の認識・理解
須田 義大	教授	ビークル、ITS、制御、安全、快適
鶴岡 弘	准教授	地震情報学、地震情報システム、リアルタイム地震学、 緊急地震速報、波動場モニタリング
苗村 健	教授	メディア+コンテンツ、アート&エンタテインメント、複合現実 感インタフェース、多人数調和型情報環境、超臨場感コミュニケーション
中川 茂樹	准教授	地震火山観測システム開発、観測波形データ処理、観測データ流通、 地震検出手法、地殻構造イメージング
中野 公彦	教授	自動車、モビリティ、ドライビングシミュレータ、ITS
鳴海 拓志	准教授	クロスモーダルインタフェース、拡張現実感、 バーチャルリアリティ、人間拡張、認知科学
沼田 宗純	准教授	防災プロセス工学、防災システム、理学・工学・社会科学の融合 シミュレーション開発、災害情報システム、危機管理システム
PENNINGTON MILES RICHARD MACINTOSH	教授	デザイン先導イノベーション
目黒 公郎	教授	災害リスクマネジメント、ユニバーサル地震災害環境シミュレータ、 防災制度設計、国際防災戦略、国際災害情報ネットワーク
森 武俊	教授	ヒューマンコンテンツ、動作認識、モーションキャプチャ、 看護工学、人間機械系
矢谷 浩司	准教授	ヒューマンコンピュータインタラクション、モバイルシステム・ アプリケーション、センシング技術、創造性・生産性支援、パーソナルヘルスケア
山川 雄司	准教授	高速ロボット、高速視覚制御、ロボットマニピュレーション、 人間機械協調
山口 泰	教授	視覚メディア、コンピュータグラフィクス、形状処理、画像処理
渡邊 英徳	教授	デジタルアーカイブ、情報デザイン、コミュニティデザイン、データ ジャーナリズム、ビジュアライゼーション

(五十音順)

令和 3(2021)年度

東京大学大学院学際情報学府

学際情報学専攻

博士課程[先端表現情報学コース]

入学願書

受験番号※

表現

正

ふりがな

一般選抜 / 特別選考枠

氏名 — 外国籍で漢字圏の者は漢字で記入し、非漢字圏の者はカタカナで記入すること。

一般選抜

特別選考枠

(ローマ字表記 :)

生年月日 (西暦) / 性別

出身大学 国立 ・ 公立 ・ 私立 ・ 海外

年 月 日生 男・女

大学

国籍 — 外国籍の者のみ記入

在留の資格 — 外国籍の日本在住者のみ記入

学部

学科

年 月 卒業・卒業見込

学費種別 — 外国籍の者のみ記入

文部科学省奨学金 (国費) 留学生
(年 月 ~ 年 月)

私費留学生、その他

出身大学院 国立 ・ 公立 ・ 私立

大学大学院

研究科・学府

外国語 (英語) の受験方法 — いずれか一つにチェックすること —

専攻

年 月 修了・修了見込

現在の身分 — 出身大学院以外に在学・在籍中の場合のみ、所属等を具体的に記入

無職

有職

所属等 ()

現在の学生証番号 (東京大学)

東京大学大学院を令和3(2021)年3月に修了見込みの者のみ記入

TOEFL 成績証明書を提出する

TOEIC 成績証明書を提出する

IELTS 成績証明書を提出する

実用英語技能検定の合格証明書を提出する

外国語 (英語) 成績未提出理由書を提出する
(理由 :)

写真貼付欄

現住所

〒

tel

fax

e-mail

最近3か月以内撮影の
正面上半身脱帽のもの
(縦4cm×横3cm)

受験票送付場所 — 現住所と異なる場合のみ記入

〒

tel

fax

e-mail

緊急時連絡先

〒

tel

fax

e-mail

1. □欄は、該当する項目にレ印を付けること。そのほかの選択記入欄は、該当する項目を○で囲むこと。

2. 裏面の「履歴」欄も詳しく記入すること。

3. 電話番号、メールアドレスは、緊急連絡先も含めて必ず記入すること。

4. 出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

5. ※印の欄は記入しないこと。

6. 全ての提出書類を単一の PDF ファイルに統合して提出すること。(郵送した提出書類と PDF ファイルは必ず同じ内容とすること。)

表現

表現

令和 3(2021)年度

東京大学大学院学際情報学府

学際情報学専攻

表現

博士課程[先端表現情報学コース]

入学願書

受験番号※

副

ふりがな

一般選抜 / 特別選考枠

氏名 — 外国籍で漢字圏の者は漢字で記入し、非漢字圏の者はカタカナで記入すること。

一般選抜

特別選考枠

(ローマ字表記:)

生年月日 (西暦) / 性別

出身大学 国立・公立・私立・海外

年 月 日生 男・女

大学

国籍 — 外国籍の者のみ記入

在留の資格 — 外国籍の日本在住者のみ記入

学部

学科

年 月 卒業・卒業見込

学費種別 — 外国籍の者のみ記入

- 文部科学省奨学金 (国費) 留学生
(年 月 ~ 年 月)
- 私費留学生、その他

出身大学院 国立・公立・私立

大学大学院

外国語 (英語) の受験方法 — いずれか一つにチェックすること —

研究科・学府

- TOEFL 成績証明書を提出する
- TOEIC 成績証明書を提出する
- IELTS 成績証明書を提出する
- 実用英語技能検定の合格証明書を提出する
- 外国語 (英語) 成績未提出理由書を提出する
(理由:)

専攻

年 月 修了・修了見込

現在の身分 — 出身大学院以外に在学・在籍中の場合のみ、所属等を具体的に記入

- 無職
- 有職
所属等 ()

現在の学生証番号 (東京大学)

東京大学大学院を令和 3(2021)年 3 月に修了見込みの者のみ記入

写真貼付欄

現住所

tel

〒

fax

e-mail

最近 3 か月以内撮影の
正面上半身脱帽のもの
(縦 4cm × 横 3cm)

受験票送付場所 — 現住所と異なる場合のみ記入

tel

〒

fax

e-mail

緊急時連絡先

tel

〒

fax

e-mail

1. □欄は、該当する項目にレ印を付けること。そのほかの選択記入欄は、該当する項目を○で囲むこと。
2. 裏面の「履歴」欄も詳しく記入すること。
3. 電話番号、メールアドレスは、緊急連絡先も含めて必ず記入すること。
4. 出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。
5. ※印の欄は記入しないこと。
6. 全ての提出書類を単一の PDF ファイルに統合して提出すること。(郵送した書類と PDF ファイルは必ず同じ内容とすること。)

履歴 ● — 高等学校卒業以降の履歴を学歴（入学、卒業）、職歴、研究歴の順に記入すること。

年	月	高等学校	卒業
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		

諸外国の学校教育制度により大学を卒業した者は、下記の欄も記入すること。

● — () 内に在学年数を、[]内に正規の修業年数を記入すること。

年	月	～	年	月	() []	小学校
年	月	～	年	月	() []	中学校
年	月	～	年	月	() []	高校
年	月	～	年	月	() []	大学
年	月	～	年	月	() []	大学院

表現

令和3(2021)年度 受験票 学際情報学専攻 博士課程	
写真貼付欄 最近3か月以内撮影の 正面上半身脱帽のもの (縦4cm×横3cm)	氏名 — 外国籍で漢字圏の者は漢字で記入し、非漢字圏の者はカタカナ で記入すること。
	受験番号
	志願コース 先端表現情報学コース
	一般選抜 / 特別選考枠 <input type="checkbox"/> 一般選抜 <input type="checkbox"/> 特別選考枠
現住所 〒 tel	

表現

東京大学大学院学際情報学府 博士課程

注：A4サイズで印刷すること。また、全ての提出書類を単一のPDFファイルに統合して提出すること。（郵送した提出書類とPDFファイルは必ず同じ内容とすること。）

※出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

空白

表現

指導教員希望調査書

氏名

研究テーマ ●— 希望する研究テーマを40字以内（英語25 words程度）で簡潔に記入すること。

注：研究計画書（表紙）と同じ内容とすること。

指導教員希望順位

希望順位	教員氏名
1	
2	
3	
4	
5	

- (1) 「先端表現情報学コース学生受入教員名簿（博士課程）」及び別冊の「教員紹介」を参照の上、作成すること。
- (2) 必ず「先端表現情報学コース学生受入教員名簿（博士課程）」に記載された教員から選ぶこと。
- (3) 希望順に最大5名まで、可能な限り複数名記入すること。
- (4) 指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。この書類で希望した以外の教員が指導教員になる場合もある。

※出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

※全ての提出書類を単一のPDFファイルに統合して提出すること。（郵送した提出書類とPDFファイルは必ず同じ内容とすること。）

表現

空 白

表現

令和3(2021)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

表現

博士課程

研究計画書[表紙]

受験番号 ●— この欄は記入しないこと

氏名	
----	--

研究テーマ ●— 希望する研究テーマを40字以内（英語25 words程度）で簡潔に記入すること。

--

注：指導教員希望調査書と同じ内容とすること。

キーワード ●— 5単語程度

研究要旨 ●— 200字程度（英語120 words程度）

--

- (1) 次ページ以下にA4判任意用紙4頁以内にまとめた研究計画書を両面印刷し、クリップで留めること（ホッチキス、糊等で綴じないこと）。
- (2) 全ての提出書類を単一のPDFファイルに統合して提出すること。（郵送した提出書類とPDFファイルは必ず同じ内容とすること。）
- (3) 研究計画書などの提出書類は入学者選抜のための重要な判断材料になる。

表見

空 白

表現

表現

自己推薦書

氏名

自己推薦文 ●— 志願者自身の基礎学力及び専門領域の能力を自らが評価し、記入すること。

表現

表現

研究に役立つと思われる免許・資格等を有していれば、その取得年月と名称を以下に記入すること。
(TOEIC 等の語学検定試験については、その成績も付記すること。)

- (1) 必要に応じ、情報学及びその関連する分野における実績があれば、その概要を記したのや目録、現物（著書、論文、報告書、作品など。）が掲載されている URL を記入すること。また、URL の先のサイトやファイルは 2020 年 8 月末までは閲覧可能な状態にしておくこと。
- (2) 裏面も必ず記入すること。
- (3) 出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。
- (4) 全ての提出書類を単一の PDF ファイルに統合して提出すること。（郵送した提出書類と PDF ファイルは必ず同じ内容とすること。）

令和 3(2021)年度

東京大学大学院学際情報学府

学際情報学専攻

博士課程

自己推薦書

表現

情報学及びその関連する分野における実績などが掲載されている主な URL とその分類

情報学及びその関連する分野における実績の分類・内容

- (1) 実績の分類により、チェック欄の番号を○印で囲むこと（複数回答可）。
- (2) 実績の分類が「その他」の場合、同欄（ ）内に具体的に記入すること。
- (3) ○印を記した実績については、実績の内容欄に、題名や内容を簡潔に記入すること。

チェック	実績の分類	実績の内容	掲載されている URL
1	論文		
2	著書		
3	書類（報告書、業績リスト等）		
4	概要を記したものと目録		
5	作品		
6	その他（ ）		

表現

表現

令和3(2021)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻



博士課程
Doctoral Program

推薦書
Letter of Recommendation

受験番号 ● この欄は記入しないこと

● 先端表現情報学コース及び総合分析情報学コースを志望する者のみ提出すること。

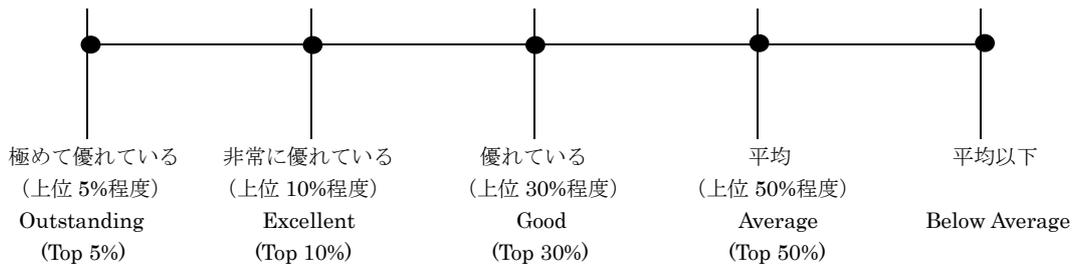
出願者氏名 Name of Applicant	
----------------------------	--

● 評価者は、出願者には送付せず、指定のウェブサイトへアップロードしてください。

評価者記入欄 To be filled in by the referee	出願者との関係 Relation to the applicant	
	出願者との交流期間 How long you have known the applicant	

評価 ● 評価者が指導・交流した中で、出願者はおおよそ下線のどの位置になるかを○でマークしてください。

Evaluation: please give your assessment of the applicant's position in relation to other students you know or have supervised by marking a circle on the scale below.



この書面に記入した内容に相違ありません。

I hereby certify that the information provided on both sides of this document is true.

Date (Y/M/D) 年 月 日

評価者 Information on the person filling out this form	所属機関・職名等 Place of employment and job title, etc	
	氏名 Name	印 Signature
	連絡先住所 Contact Address	Tel

推薦文は裏面にご記載ください

Please write your recommendation on the reverse side.

令和 3(2021)年度

東京大学大学院学際情報学府

学際情報学専攻

表現

博士課程

推薦書

推薦文（手書き又は、ワープロで作成し印刷して下さい）

Recommendation (You can print your recommendation on this form using word processing software.)

表現

表現

● 評価者は、指定のウェブサイトへ提出してください。

表現

日本語学力証明書

CERTIFICATE OF PROFICIENCY IN JAPANESE

- 外国人出願者のみ提出すること。(ただし、日本の大学を卒業した者又は卒業見込みの者については不要)
- 日本語教授者、その他適当な方に記入を依頼して下さい。

This sheet should be completed by your instructor in Japanese or any other qualified person.

出願者氏名 (Name of applicant)	
住所 (Address of applicant)	

日本語能力の評価 (EVALUATION OF APPLICANT'S ABILITY IN JAPANESE)

	優 (Excellent)	良 (Good)	可 (Fair)	不可 (Poor)
話す力 (Speaking)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
聞く力 (Hearing)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
書く力 (Writing)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読む力 (Reading)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

能力評価のために用いられた方法 (Method used to test the applicant's ability)

--

備考 (Remarks) :

--

署名 (Signature)	
氏名 (Name)	
機関及び職名 (Present Position and Status)	
住所 (Address)	

日付(Date)

--

※出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

※全ての提出書類を単一の PDF ファイルに統合して提出すること。(郵送した提出書類と PDF ファイルは必ず同じ内容とすること。)

空 白

令和3(2021)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

表現

博士課程
「東京大学」入学検定試験検定料
振込金受付証明書（C票）等
貼付用紙

受験番号 ●—この欄は記入しないこと

※検定料をコンビニエンスストアで払い込んだ場合は「収納証明書」、クレジットカードで払い込んだ場合は、プリントアウトした「受付完了画面」（金額がわかるもの）、ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専門銀行で振り込んだ場合は、「照会結果」（金額がわかるもの）を本用紙に貼り付けてください。

※出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

※全ての提出書類を単一のPDFファイルに統合して提出すること。（郵送した提出書類とPDFファイルは必ず同じ内容とすること。）

のりづけ

長見

表現

空 白

表見

表現

東京大学大学院学際情報学府 入学試験検定料振込依頼書(銀行振込用)

【志願者へのお願ひ】

1. 太枠で囲まれている記入欄は、全て黒ボールペンで記入してください。
2. 必ず銀行窓口(ゆうちょ銀行不可)で払い込み、ATM、インターネット等とは利用しないでください。
3. 振り込み後、検定料振込金受付証明書(C票)を『「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書(C票)等貼付用紙』に貼り付けて提出してください。振込金受取書(B票)は依頼人(志願者)の領収書などで大切に保管してください。
4. 三井住友銀行本支店にて振り込む場合、振込手数料は無料となりますが、他行から振込の場合の振込手数料は依頼人(志願者)がご負担願ひます。
5. 留学生のうち日本政府(文部科学省)奨学金留学生は、検定料は不要ですので、振り込まないでください。

A票 (太枠で囲まれている記入欄は、すべて黒ボールペンで記入してください。)

振込依頼書

(「東京大学」入学検定試験検定料)

出願締切日(金融機関取扱期限)
令和2(2020)年7月15日(水)

振込先	令和	年	月	日	科目	金額	手数料	出納印
三井住友銀行 東京第一支店					電信扱			
預金種目	普通	口座番号	9519802			金額	30000	
受取人	(フリガナ) トウキョウダイガク 東京大学							
依頼人(志願者)	(フリガナ) 志願者氏名							
	(おとこ)							(電話)

【取扱金融機関へのお願ひ】

1. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
2. B・C票は、必ず依頼人へお返しください。

(取扱金融機関保管)

B票

振込金受取書

(「東京大学」入学検定試験検定料)

金額	令和	年	月	日	手数料	出納印
30000						
振込先	三井住友銀行 東京第一支店					
受取人	(フリガナ) トウキョウダイガク 東京大学					
志願者氏名	(フリガナ)					

収入印紙

出願締切日(金融機関取扱期限)
令和2(2020)年7月15日(水)

(志願者保管)

C票

「東京大学」入学検定試験 検定料振込金受付証明書

金額	令和	年	月	日	振込先	受取人	志願者氏名
30000					三井住友銀行 東京第一支店	(フリガナ) トウキョウダイガク 東京大学	(フリガナ)

出納印

(願書貼付用)

「切り離しのうえ、C票を貼付用紙に貼り付けてください」

「金融機関で切り離してください」

年 月 日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論文添付票	先端表現情報学コース	
ふりがな	出身大学院	
氏 名	大学大学院	
印	研究科	
	専攻	

論文題目

論文の種類別	<input type="checkbox"/> 修士学位論文の写し	<input type="checkbox"/> 修士学位論文に代わるもの	論文冊数(総頁数)	冊(計)	頁)
--------	------------------------------------	---------------------------------------	-----------	------	----

- 提出論文の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
- 出願資格(1)による出願者(本学府において令和3(2021)年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者)は、本添付票は不要。

キリトリ

年 月 日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論文添付票	先端表現情報学コース	
ふりがな	出身大学院	
氏 名	大学大学院	
印	研究科	
	専攻	

論文題目

論文の種類別	<input type="checkbox"/> 修士学位論文の写し	<input type="checkbox"/> 修士学位論文に代わるもの	論文冊数(総頁数)	冊(計)	頁)
--------	------------------------------------	---------------------------------------	-----------	------	----

- 提出論文の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
- 出願資格(1)による出願者(本学府において令和3(2021)年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者)は、本添付票は不要。

キリトリ

年 月 日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論文添付票	先端表現情報学コース	
ふりがな	出身大学院	
氏 名	大学大学院	
印	研究科	
	専攻	

論文題目

論文の種類別	<input type="checkbox"/> 修士学位論文の写し	<input type="checkbox"/> 修士学位論文に代わるもの	論文冊数(総頁数)	冊(計)	頁)
--------	------------------------------------	---------------------------------------	-----------	------	----

- 提出論文の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
- 出願資格(1)による出願者(本学府において令和3(2021)年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者)は、本添付票は不要。

年 月 日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論文要旨添付票	先端表現情報学コース	
ふりがな	出身大学院	
氏名		大学大学院
印		研究科
		専攻

論文題目

論文の種類別	<input type="checkbox"/> 修士学位論文の写し <input type="checkbox"/> 修士学位論文に代わるもの	論文冊数(総頁数)	冊(計)	頁)
--------	--	-----------	------	----

- 提出論文要旨の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
- 出願資格(1)による出願者(本学府において令和3(2021)年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者)は、本添付票は不要。

キリ

年 月 日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論文要旨添付票	先端表現情報学コース	
ふりがな	出身大学院	
氏名		大学大学院
印		研究科
		専攻

論文題目

論文の種類別	<input type="checkbox"/> 修士学位論文の写し <input type="checkbox"/> 修士学位論文に代わるもの	論文冊数(総頁数)	冊(計)	頁)
--------	--	-----------	------	----

- 提出論文要旨の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
- 出願資格(1)による出願者(本学府において令和3(2021)年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者)は、本添付票は不要。

キリ

年 月 日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論文要旨添付票	先端表現情報学コース	
ふりがな	出身大学院	
氏名		大学大学院
印		研究科
		専攻

論文題目

論文の種類別	<input type="checkbox"/> 修士学位論文の写し <input type="checkbox"/> 修士学位論文に代わるもの	論文冊数(総頁数)	冊(計)	頁)
--------	--	-----------	------	----

- 提出論文要旨の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
- 出願資格(1)による出願者(本学府において令和3(2021)年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者)は、本添付票は不要。

書類送付先

①合格通知用 (最終合格者に対して合格発表日に送付される合格通知の受信場所を記入すること)

(郵便番号)
〒 _____
(住所)

(受験者氏名)
_____ 殿
重要書類在中 * 至急開封してください。

②入学許可通知用 (最終合格者に対して翌年2月下旬頃に郵送される入学許可通知の受信場所を記入すること)

(郵便番号)
〒 _____
(住所)

(受験者氏名)
_____ 殿
重要書類在中 * 至急開封してください。

論文・論文要旨送付ラベル

以下の氏名欄を記入の上、切り離し、各自用意した送付用封筒の表に貼付の上、「書留速達郵便」により、「論文」及び「論文要旨」を郵送すること。

※全ての提出書類を単一のPDFファイルに統合して提出すること。(郵送した提出書類とPDFファイルは必ず同じ内容とすること。)

———きりとり———

〒113-0033

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院学際情報学府事務部 学務チーム 宛

令和3(2021)年度入学試験 論文・論文要旨 在中

出願コース 先端表現情報学コース
出願者氏名
出願者住所 〒

先端表現情報学コース(博士課程)出願書類チェックリスト

チェック	書類名	対象者及び補足事項
<input type="checkbox"/>	入学願書(正・副) ※緊急時連絡先は必ず現住所と異なる【tel,e-mail等】を記入すること。写真について画像データの貼り付けは不可	全員
<input type="checkbox"/>	受験票 ※写真について画像データの貼り付けは不可	
<input type="checkbox"/>	指導教員希望調査書	
<input type="checkbox"/>	研究計画書	
<input type="checkbox"/>	自己推薦書 ※URLの先のサイトやファイルは2020年8月末までは閲覧可能な状態にしておくこと	
<input type="checkbox"/>	受験票送付用封筒 ※長形3号の封筒に宛先等を記入の上【384円分の切手】を貼付	
<input type="checkbox"/>	書類送付先	
<input type="checkbox"/>	論文 ※必ず【論文添付票】を付すこと	全員(出願資格毎に提出方法等が異なるので、博士課程学生募集要項をよく確認の上、提出すること。)
<input type="checkbox"/>	論文要旨 ※必ず【論文要旨添付票】を付すこと	

<input type="checkbox"/>	<p>A. 次のア、イ、ウ、エ いずれか1つを提出する</p> <p>ア. TOEFL成績証明書 (TOEFL-PBTまたはTOEFL-iBT (TOEFL iBT Special Home Editionも可)の公式スコアシート) ※①と②両方とも必要 ①Test Taker Score Report/Examinee Score Report ②Official Score Report/Institutional Score Report</p> <p>イ. TOEIC「Official Score Certificate(公式認定証)」の原本 (TOEIC L&RまたはTOEIC Testの公式スコアシート)</p> <p>ウ. IELTS公式成績証明書(Test Report Form)の原本(Academic Moduleの公式スコアシート) ※Computer Delivered IELTS(アカデミック・モジュール)も可</p> <p>エ. 実用英語技能検定(英検、英検CBT、英検S-CBT)の合格証明書、英検CSEスコア証明書の原本</p> <p>B. 理由書を提出する。 ※理由書とは別に外国語(英語)試験等のスコア(任意)を提出する場合はチェック→□</p>	<p>【出願資格(2)～(11)の者】 外国語(英語)試験について</p> <p>A: 提出締切に各証明書等が間に合わない場合、該当する以下の確認事項を全てチェックすること</p> <p>ア TOEFL成績証明書</p> <p>1. 「ア①」が願書提出期限内(7/7-7/15)に間に合わない場合は、以下の事項を確認し必ずチェックすること 【確認事項1】</p> <p>□ 「ア①」は有効期限内に受験したものであり、提出期限(7/31)までに到着するよう発送済(もしくは発送予定) □ 「ア①」について発送日(もしくは発送予定日)を記入すること 発送(予定)日: 年 月 日</p> <p>2. 「ア②」が提出期限(7/31)に間に合わない場合(可能性がある場合を含む)は、以下の事項を確認し必ずチェックすること 【確認事項2】</p> <p>□ 上記「ア①」を願書提出期限内(7/7-7/15)に提出済(もしくは上記1.を対応済) □ 現在請求している「ア②」は「ア①」の内容である □ 「ア②」についてETCへの請求日を記入すること 請求日: 年 月 日</p> <p>イ(TOEIC)、ウ(IELTS)、エ(実用英語技能検定)共通</p> <p>1. 「イ、ウ、エ」の各証明書が願書提出期限内(7/7-7/15)に間に合わない場合は、以下の事項を確認し必ずチェックすること 【確認事項1】</p> <p>□ 「イ、ウ、エの各証明書等」は有効期限内に受験したものであり、提出期限(7/31)までに到着するよう発送済(もしくは発送予定) □ 「イ、ウ、エの各証明書等」について発送日(もしくは発送予定日)を記入すること 発送(予定)日: 年 月 日</p>
<input type="checkbox"/>	出身大学及び出身大学院の成績証明書 ※なお、提出物が原本(原本証明も含む)以外の場合はチェック→□	出願資格(2)～(11)の者
<input type="checkbox"/>	出身大学院の修了証明書 ※なお、提出物が原本(原本証明も含む)以外の場合はチェック→□	出願資格(2)～(11)の者
<input type="checkbox"/>	推薦書 ※評価者が指定のウェブサイトへ直接提出するよう依頼すること	出願資格(2)～(11)の者
<input type="checkbox"/>	出身大学院の修了見込証明書 ※なお、提出物が原本(原本証明も含む)以外の場合はチェック→□ ただし「出身大学院の成績証明書」に修了年月日が記載されている場合は不要	出願資格(4)～(11)の者で外国の大学院の修了見込者のみ
<input type="checkbox"/>	<p>検定料 「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書(〇票)等貼付用紙に以下を添付の上、提出</p> <p>【銀行振込の場合】 「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書(〇票)</p> <p>【コンビニエンスストアでの払込の場合】 収納証明書</p> <p>【クレジットカードでの払込の場合】 「受付完了画面」のプリントアウト</p> <p>【ペイジー対応ATM、ペイジー対応ネットバンク、ネット専業銀行での払込の場合】 「照会結果」のプリントアウト</p>	出願資格(3)～(11)の者 ただし、日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く。
<input type="checkbox"/>	日本語学力証明書	外国人(日本の大学院を修了した者及び修了見込みの者を除く)のみ
<input type="checkbox"/>	ポートフォリオとして、メディア技術に関わるデザイン・芸術表現分野におけるこれまでの顕著な活動を説明する資料(書式任意)や賞状のコピー等の業績を証明する資料、作品のコピー等をPDF内に添付。 ※必ず【特別選考枠の提出物】であることを明記	特別選考枠での受験を希望する者のみ
<input type="checkbox"/>	備考(補足や追加説明等が必要な場合に記入すること)	

注: 出願の際、本チェックリスト(□)にチェックの上、出願書類とともに郵送すること。

なお、どのような事情があっても、提出物は返却しないので注意すること。

注: 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻博士課程学生募集要項(夏季募集)に基づき、全ての提出書類を単一のPDFファイルに統合して提出すること。アップロード方法の詳細はウェブページに掲載する。郵送した書類とPDFファイルは必ず同じ内容とすること。